

新型コロナウイルスワクチンの接種を受けた方へ

～接種後（特に接種直後～数日間）は体調に注意しましょう～

このワクチンは2回接種を受けることで、より高い予防効果が得られます。また、接種後に痛み、疲労、頭痛などの副反応がみられることがあり、これらの症状の多くは、**1回目の接種より2回目の接種時に高い頻度**で認められました。また、**高齢者よりも非高齢者に高い頻度**で認められました。副反応が生じるのは、免疫反応のあらわれと考えられ、きちんと免疫ができていく証拠ともいわれています。

ワクチンを受けた後は、**15分以上は接種会場で座って様子を見てください。**
(過去に重いアレルギー症状(アナフィラキシーを含む)や、採血等で失神や気分が悪くなったことがある方等は**30分ほど**お待ちください。)

起こるかもしれない症状（接種者の10%以上に起こったもの）

- 当日に現れ、2日間ぐらい続くもの
注射した部位の腫れや痛み
- 多くは接種翌日に現れ、1日程度で治まるもの
筋肉痛、関節痛、頭痛、倦怠感、寒気、発熱



※本ワクチンは筋肉内注射のため、痛みや腫れなどの軽い副反応は頻繁に現れますが、通常、数日以内に治ります。

必要に応じて解熱鎮痛剤を服用するなど、しばらく様子を見てください。

(日常生活に支障をきたす重い症状の割合は、ごくわずかです。)

※ごくまれですが、軽症の心筋炎・心膜炎を発症した例が報告されています。

	痛み	腫れ	下痢	筋肉痛	関節痛	頭痛	疲労	寒気	発熱
発現割合	84.3%	10.6%	15.5%	37.9%	23.7%	55.1%	62.9%	32.4%	14.8%
発現時期	接種当日		接種翌日						
持続期間	約2日		約1日						

出典：第51回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和2年度第11回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）資料より抜粋

上記のような症状が続いたり、いつもと違う体調の変化や異常があれば、身近なかかりつけ医や医療機関、県の専門相談窓口（うら面参照）へ相談してください。

ひどい痛み・腫れ・高熱など重い症状と思われる場合は、医師の診察を受けてください。

〈うら面もご覧ください〉

起こるかもしれない重い症状（頻度不明）

現れた場合、ショック、アナフィラキシーの疑いがあります。

（アナフィラキシー発生率：接種100万回あたり11.1件）

出典：第51回厚生科学審議会予防接種・ワクチン分科会副反応検討部会、令和2年度第11回薬事・食品衛生審議会薬事分科会医薬品等安全対策部会安全対策調査会（合同開催）資料より抜粋



- ・皮膚のかゆみ
 - ・じんま疹
 - ・紅斑
 - ・皮膚の発赤
- など



- ・腹痛、吐き気
- など



- ・視覚の異常



- ・声のかすれ
 - ・くしゃみ
 - ・のどのかゆみ
 - ・息苦しさ
- など



- ・蒼白
 - ・意識混濁
- など

接種後しばらくの間は、会場でお待ちいただき、このような症状がみられた場合には、ただちに、接種会場の医師、看護師等に伝えてください。

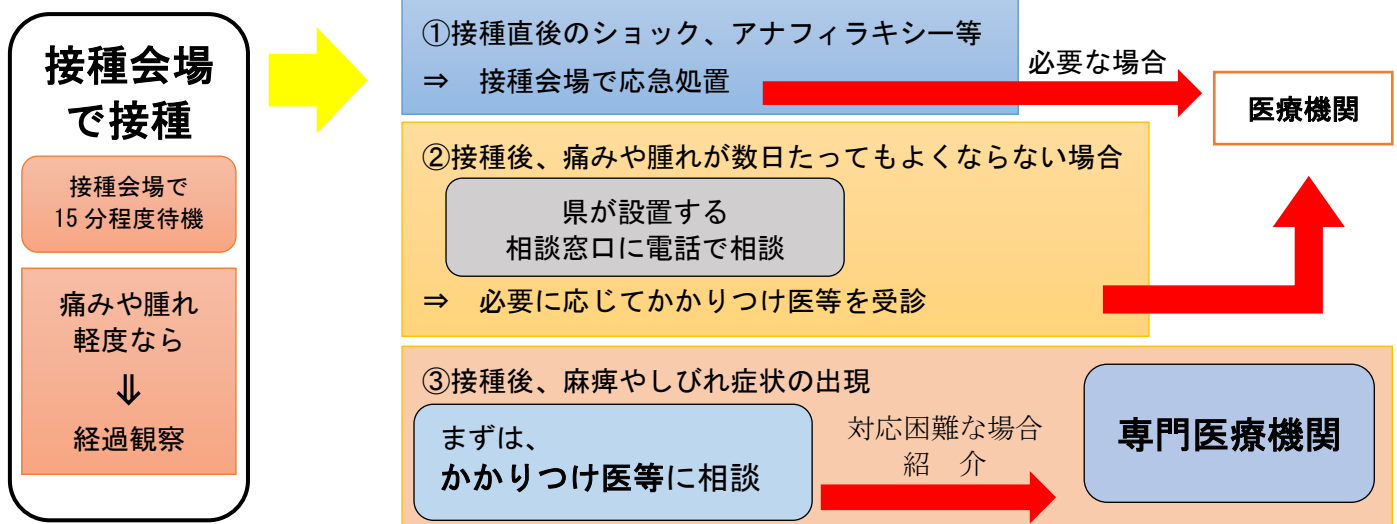
■万が一、接種会場から帰宅後、上記の症状等が現れた場合には、県が設置する相談窓口にご相談ください。

深刻な症状がでたら

鹿児島県新型コロナワクチンコールセンター
（コロナ相談かごしま）

☎ 099-833-3221

受付時間：午前10時～午後5時（土日・祝日も含む）



予防接種による健康被害についての補償（予防接種健康被害救済制度）

■新型コロナワクチンの接種により、健康被害が生じた場合には、予防接種法に基づく救済（医療費・障害年金等の給付）を受けることができます。申請に必要なとなる手続等については、住民票がある市町村にご相談ください。